

平成22年7月11日執行

# 参議院千葉県選出議員選挙公報

千葉県選挙管理委員会

比例  
代表は

「日本共産党」  
ください

## 増税ノー くらしさざえる政治に転換を



日本共産党

35歳

さいとう和子

みんなの党公認

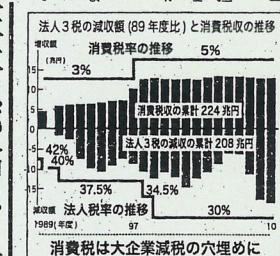
菅新首相の言つ「強い経済」は法人税減税、  
日本を元気にする道は、国民の懐をためめ、福祉をととのえ消費を活性化することです。

「消費税10%」が大企業減税の穴埋めに  
4人世帯の負担が4年34万円、1ヶ月分の給与が  
消えます。景気は花びらが

消費税最悪の弱い者いじめ



1974年船橋市生まれ。東京台高校、日本大学歯学部医学部卒。県立浦和水泳講習会にて党員に、昨年結婚式を挙げた。父母、妹に船橋市在住。



消費税は大企業減税の穴埋めに

89年の導入時も、税率を引上げた97年も、法人税を大幅に引き下げています。今回らまた同じ構図です。

国の責任で

雇用正社員が当たり前に

大企業がため込んだ内訳開示する10年間で87兆円増え220兆円

逆に労働者の収入は削減っています。正社員も大量に非

正規に雇用を換えています。その結果、税収や年金を社会に支え

る社会が壊れています。ため込んだ利益を国民に還元し、雇用と

中小企業の経営改善してこそ、日本経済が健全な発展します。

●国民健康保険料1人1万円の引き下げを。

●就学前の子どもと75歳以上の医療費無料に。

●農作物の価格保障・所得補償で食料自給率向上を。

●米軍普天間基地は無条件撤去を。

アメリカと財界に、国民の立場から

モノ言える新しい政治を

水野けんいち  
プロフィール

- 昭和41年7月21日生まれ
- 中学、麻布高校、早稲田大学政経学部卒業
- 平成11年、自民党で衆議院議員に初当選(合計2回当選)
- 衆議院議員として北朝鮮経済制裁などを議員立法で成立させる
- 平成18年、法務大臣に就任
- 平成20年、衆議院環境委員長に就任
- 現在、みんなの党参議院千葉県第1支部支部長
- 佐藤市王子台在住

みんなの党  
みんなの党

政策について詳しくはホームページで

水野けんいちホームページ

<http://mizunokenichi.com/>

Q 政治の現状についてどう考えていますか?

水野 民主党政権は言行不一致が多すぎます。例えば天

下り禁止などのマニフェストは反故にされました。また以前

は「選挙をしないまま総理の首をスケベ替えるのはけしからん」と言ついましたが、「鳩山一晩」というたらい回しも行

ないました。

一方、民主党は相変わらず老練な議員が支配し、

國の将来を切り拓くだけの氣概も覚悟も感じられません。

もし民主党が参議院でも過半数を確保すれば衆参両院

を制することになり、暴走してもミクシルすることさえでき

なくなります。だからこそ「みんなの党」の出来です。私

たちが躍進すれば政治の流れを変える大きな一歩になる

と確信しています。

水野けんいち

みんなの党公認

国民の信頼に応えます!



豊かな日本へ! バラマキ政策より成長重視!  
国民と向き合う政治へ!

すべては子どもたちの  
未来のために!

少しでも早く、国民に笑顔を。子どもたちに明るい  
未来を。「空白の8ヶ月」を取り戻すために、参議院から全力で国政を建て直します。

政策1 企業に活力、雇用を拡大!

内需と外需を拡大する政策で、日本の企業を元気にすると同時に、「新卒者100%雇用計画」などの政策を実施し、雇用の安定化を図ります。

外需拡大 内需拡大

法人税の引き下げや保険料の事業主負担軽減などで、ナノテクノバイオ、IT、脑科学などの先端技術分野の開発研究を支援、競争力強化を後押しします。

政策2 安心できる  
社会保障制度に!

医療・介護・年金について安定的財源を確保し、持続可能な社会保障制度を確立。国民の安心を確保します。

政策3 子どもがまっすぐ  
育つ社会に!

幼児教育無償化、保育士の処遇改善など、質の高い子育て環境を整えます。また、「知・徳・体」を育む教育を推進します。

政策4 千葉の食の安心を  
食卓に!

豊かな食の生産状況が整っている千葉県の農業基盤を整備し、安全でおいしい食材が全国に供給できるようにします。

しこな  
保

かずや

自民党公認

この選舉公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

# 平成22年7月11日執行 参議院千葉県選出議員選挙公報

千葉県選挙管理委員会

小西ひろゆきってこんな人!

大手情報通信企業 Mさん

小西さんは、私たち日本企業が厳しい国際競争に打ち勝つために、既存の制度の限界を超える政策作りに一所懸命取り組んでくれました。一緒に取り組んだプロジェクトは私の誇りです。

全国失語症友の会連合会理事長 松田さん  
失語症患者家族会代表 園田さん

小西さんは脳卒中で活動に参加できるよう左右どちらも分からぬ私を優しくサポートしてくれました。言葉の不自由な人の団体が小西さんのおかげで政治に向かって声を発するようになりました。感謝の気持ちで一杯です。

小西ひろゆき プロフィール

1972年生まれ、東京大学教養学部卒業、コロンビア大学国際・公共政策大学院修了、東京大学医療政策人材養成講座修了(優秀賞)

元総務省、経産省、農水省勤務、産業・農業政策、政治資金制度の課長補佐職等を歴任。

<http://www.konishi-hiroyuki.com>

## くらしを守る即戦力!

- ・政治資金、行政改革の断行
- ・農林水産業の発展
- ・雇用対策、新産業の育成
- ・医療、介護、年金等の再建
- (医療基本法の制定など)

私の政治に向かう原点は、21年間寝たきりであった父親の介護の経験です。小学生の時から脳卒中で倒れた父親に寄り添い、救急車の乗組から人工呼吸器の着脱の時までを経験しました。父の死後、総務省や経済産業省で産業政策の仕事に励みながら、患者団体や医師などと一緒に、医療崩壊をくい止める切り札の「医療基本法」の制定など、私たちのかけがえのない幸せと尊厳活動に懸命に取り組んできました。私たちの「ともに生きる社会」を目指す!が守られる「ともに生きる社会」を目指します!医療・雇用・経済の立て直し、社会保障の基盤づくりなどに全力を尽くします!

ともに生きる社会を実現します!

民主公認 小西ひろゆき (38歳)

日本にメス!! 千葉にメス!! そして日本改革

こがは、日本と千葉の将来を明るくするために2つの分野で尽力します。

### 医療・福祉

医療従事者的人材不足を解消します。

- 1 国民参加型の介護制度を作ります。
- 2 医療従事者のステップアップを実現します。
- 3 医療に関する様々な課題を解消して千葉に安全・安心をもたらします。

### 科学

科学技術立国の復権を目指します。

- 1 集中と選択の研究開発予算を確立します。(例えば、新薬開発)
- 2 科学技術予算の税制改革や規制緩和を実現します。(例えば、介護ロボット・遠隔モニター)
- 3 千葉に医療・長寿・福祉特区を作ります。

新党 改革  
New Renaissance Party  
[www.shintokaikaku.jp](http://www.shintokaikaku.jp)

比例代表は「改革」  
とお書きください。

こがひさしプロフィール  
昭和37年7月26日—千葉県船橋市高円台に生を受ける。  
昭和44年4月—船橋市立高円台小学校入学  
昭和50年4月—船橋市立高円台中学校入学  
昭和53年4月—千葉県立船橋高等学校入学  
昭和55年4月—東京大学農学部農芸植物栽培科卒業  
昭和56年4月—農芸植物栽培研究所にて助手として勤務開始  
平成7年4月—熊本大学大学院医学研究科研究生(佐野秀行教授)  
平成10年12月—ハングル大学に留学

平成12年6月—ヘリックス研究所第2研究部門主任研究員  
平成13年11月—千葉県DNA研究所主任研究員  
地熱熱集束プロジェクト研究チーム  
チームリーダー兼任  
平成18年10月—カナダDNA研究所ヒトゲノム研究部  
チームリーダー兼任  
平成21年3月—井井眞彰外科内科学科 有能内視鏡医長  
現在にいたる

こがひさし  
(47才)

# 「解決力」がある政治

いの ぐち くに こ  
猪口邦子プロフィール

千葉県生まれの元少子化大臣  
千葉県市川市生まれ市川市立八幡小学校  
桜蔭中学・高等学校・米国コロニアカデミー高校・上智大学  
1982年  
1983年～1984年ハーバード大学客員研究員  
1990年～2006年上智大学法学部教授  
2002年～2004年東洋大使(ジャーナリスト)  
2005年～2009年衆議院議員  
2005年～2006年少子化・男女共同参画大臣  
2005年～現在 日本学術会議会員(政治学)  
2010年～現在 日本大学教授(国際政治学)

主な著作  
『政治と平和』(東京大学出版会 1989年、吉野作造著)  
『いのこism』(西村書店 2007年)  
愛寶賞  
吉野作造賞/エイボン女性大賞/NHK「青年の主張」最優秀賞

いの ぐち くに こ  
猪口邦子 選挙事務所

〒260-0027 千葉県中央区新田町2-22  
TEL 043-244-8700 FAX 043-244-8688  
ホームページ [www.kunkoinoguchi.jp](http://www.kunkoinoguchi.jp)  
Eメール [inoguchi@kunkoinoguchi.jp](mailto:inoguchi@kunkoinoguchi.jp)

千葉は宝

私の生まれ故郷は千葉県市川市。明治生まれの祖母、故横田葉子は、大多喜町出身の女流歌人でした。千葉は、首都に隣接した利便性、文化や自然の豊かさをもつ可能性の「宝」。東京と神奈川を合わせたより面積の大きな千葉。農林漁業と工業のバランスのよい千葉は、長い歴史の海岸線など多様な観光資源にも恵まれ、アーバン有機的国際空港を構ねば、千葉から多くの動きを示す「宝」ではないでしょうか!

比類代表では  
「自民党比例候補者名」か  
「自民党」とお書きください。

いの ぐち くに こ  
猪口邦子  
自由民主党公認

平成22年7月11日執行

# 参議院千葉県選出議員選挙公報

千葉県選挙管理委員会

弁護士、一児の母。

あなたが選ぶ道

## 明るく元気なニッポン復活。

元早大ロースクール教授  
元「朝ズバッ!」コメンテーター



### プロフィール

1966年 印西市にルーツを持ち出生(44歳)  
1988年 一橋大学法学部卒業、NTTに勤務(営業を経験)  
1995年 井澤士登記  
弁護士として、家族問題、主に夫婦間暴力や  
児童虐待などの問題にかかわる。  
2002年 ニューヨーク州弁護士登録  
40歳で初選  
2006年 TBS系列「みのもんたの朝ズバッ!」に  
コメンテーターとして出演  
2008年 早稲田大学大学院法務研究科(ロースクール)教授  
2009年

連合千葉 市民ネットワーク千葉県 推薦  
推薦

The Democratic Party of Japan

# 民主党

<http://www.michiayumi.net>

国の借金は、赤字のかたまりだと思いませんか？

子供手当  
高校無償化  
定額給付金

国民からの  
税金を  
バラマキ

リターンなし  
= 経費  
雇用拡大  
景気回復  
あとに残るもの  
豊かな未来への  
財産

インフラや国の発展のために残るものは  
投資であって経費ではない

まずは、成長戦略  
成長なくして増税なし

戦後の日本の復興は道路を作り、橋を架け、新幹線を走らせて、インフラを作りて発展しました。  
それをやめることは、発展を止めることと同じです。



幸福実現党

まさ  
ひこ

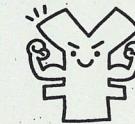
# まきの正彦

(54歳)

「経営力」が日本を救う  
無駄(経費)を削減して、豊かな未来を築く、  
価値のある財産を増やし、投資した以上に収益を  
上げ、雇用と景気をアップ。

国であれば将来性のある「基幹産業」

雇用拡大  
景気アップ  
収入アップ



幸福実現党

## 「国家の自立」「地方の自立」「国民の自立」



# 清水さとし

日本創新党公認

清水さとしのお約束

1 外国人参政権反対

日本の歴史や伝統を踏まえ、新しい時代の要請に応えられる「新しい日本憲法」を国民総意でつくる

2 新しい憲法の制定

日本の主権を守り、シーレーンの安全を維持するための現実主義に基づく自主的な外交・防衛を進めることと財政の再建を図る

3 自主独立の外交・防衛の確立

まず国会議員の半減と公務員数の三分の一削減にめどをつけた上、多重行政を方針行政の民間化と「廃県置州」による思い切った行政分権を実現し、行政コストの削減と国富の増大を図る

4 財政の再建

「子どもに『しき』をまわさない」を原則で、「子ども手当」などのバラマキ政策は見直し、「改革と成長」による経済と財政の再建を図る

5 「小さな政府」と「廃県置州」の実現

まず国会議員の半減と公務員数の三分の一削減にめど

つけた上、多重行政を方針行政の民間化と「廃県置州」による思い切った行政分権を実現し、行政コストの削減と国富の増大を図る

6 教育の再興

「高校無償化」ではなく、幼児教育と義務教育の充実を

図る

7 医療改革の実現

崩壊寸前の医療介護現場改革は急務である

みんなが安心して暮らせる社会を構築する  
国土保全・環境・食料問題の観点から、農地制度の見直しを行い、農地の再生・雇用の問題解決を図る

8 日本の再生は農業にあり

国土保全・環境・食料問題の観点から、農地制度の見

直しを行い、農地の再生・雇用の問題解決を図る

「たちあがれ日本」推薦

比例代表は  
日本創新党へ

THE SPIRIT OF JAPAN PARTY

日本創新党 公式サイト  
<http://www.nippon-soushin.jp/>

清水さとしの公式サイト  
<http://www.shimizusatoshi.jp/>

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。